




リハビリテーション科は、名古屋手外科センターで活動する当院の整形外科医と連携しています。毎朝、合同のカンファレンス（症例検討会）で話し合い、情報共有を図って、常により良い治療を目指しています。

手術など治療の始めから一貫して、医師と一緒にリハビリスタッフも対応します。病態をつぶさに観察して担当医と相談して、リハビリの計画を作成します。スタッフは皆、患者ごとの治療プランが頭にしっかりと入っています。時には、患者

④1 手外科との連携(リハビリ科)



合同カンファレンスで患者の情報を共有する手外科医とリハビリ科スタッフ＝中日病院提供

 中日病院 名古屋市中区丸の内3の12の3。☎中日病院＝052(961)2491

のバックグラウンドを考慮しつつ回復状況を見て計画を修正しながら、常に最適なプログラムを実施していきます。

最近、手首や指のけがや病気に加え、スポーツによる外傷や障害、関節リウマチなどの慢性疾患で来院する方も増加しています。どのような疾患にも適切な治療が行えるよう、手外科医とともに常に勉強し、手のリハビリを担うハンドセラピストとして幅広い知識と技術を身に付けるように励んでいます。(茶木正樹リハビリテーション科長・作業療法士・患者談)

の治療や社会復帰の悩みをくみ取り、担当医に相談し工夫します。患者が通院し、就労や学業の状況や予期しない事態などで、リハビリプランの変更を余儀なくされることもありま

手外科センターへは、広い地域からさまざまな

情報共有、良い治療目指す